

多くの人々を使役して絞取を遣ま、にしてゐるのである。斯かる絞取や支配の行はれてゐることの不合理なるは今更言ふ迄もない。

多くの労働者が、資本家の爲めにその仕事を奪はれて了つて、賃銀奴隷とせしめられたことは、何よりも悪いことである。労働者はその賃銀奴隷の状態より自らを解放する爲めに、その奪はれた仕事を、再び自分の手に奪へ返へさなくてはならない。即ち産業を再び労働者自身のものになくしてはならないのである。賃銀労働から脱して自由労働へと進まなくてはならない。徒らに賃銀を増すことや、労働時間を短縮し、其他の労働条件を改善することだけに止まつて、それ以上の高い理想を持たづにゐるやうでは、餘りに惜ないことである。

吾々の待ち望んでゐる社會の持ち來たされるのは、近い將來のことではないかもしれない。然しそれはどうでもよい。吾々としては、さうした社會を持ち來すことに努力するそのことに意義があると見るのであつて、必ずしも結果を思つてのことではない。吾々の努力は決して空しく終ることはないと思つてゐる。努力そのものが、即ち吾々の生活であるとき、吾々は何事も願ふ必要はなくなくなる。結果のことなどを思ふには當らない。たゞ吾々の生活を有意義ならしめればよい。せずにはゐられないことをすればよい。吾々はあらゆる功利的な考を排する。眞の心の底からの要求に耳を

傾け、高い熱情と強い衝動に身を任せればよい。行くところまでは行かすには止まないであらう。

吾々の待ち望んでゐる社會は、今日見るが如き資本家に依る絞取や権力の壓制の全く行はれない、即ち賃銀奴隷の全くなくなつた、凡ての人が獨立した生産者である完全なる自治の社會である。吾々はそれを呼んで自由社會といふ。

2 各人が自分自身の解放の爲めに

マルクスとエンゲルスは共產黨宣言の中で、労働者階級の解放は、労働者階級自身の仕事でなくてはならないことを述べてゐるが、これは動かすべからざる眞理である。絞取され自由を奪はれてゐる階級は、自分自身の解放を自分自身の努力によつてするより外に全く道はない。絞取してゐる階級即ち支配階級のお情にすがらうとするが如きは、全く無益なことである。労働者階級と資本家階級とは、決して兩立することの出来ない運命を擔つてゐるのであつて、一方が絞取され壓迫されてゐる状態から脱け出して、獨立した生産者としての自治の社會を實現せしめようとすれば、一方は必然的に亡びて行かなくてはならない。即ち支配階級としての特権を全く失つて了はなくてはならないことになるの

自由社會の創造